

大阪府北部で起こった震度6弱の大地震。松ヶ本認定こども園では、ガスの供給が停止したものの子どもたちの大きなケガの報告もなく、元気に登園し通常の園生活が少しずつ戻ってきています。まだまだ、余震も続き不安も続いています。体のケアだけでなく、心のケアも行っていきたいと思ひます。

梅雨が明けると、子どもたちの大好きなプールや水あそびが始まります。今年も猛暑になると予想されています。体調管理には十分に気をつけ、この夏も元気に乗り切りたいですね。

水いぼ

かゆみや痛みはない

丸く柔らかい つやつやしている

放置していても1・2年で治りますが、プール活動に参加できない場合があります。医療機関に相談しましょう。

いぼがつぶれると、中のウイルスが出てきて体中に広がり、他人にもうつります。

歯科検診の結果

6月に行われた歯科検診。医師より「綺麗な歯が多くて、むし歯も少ないですね」と言って頂きました。事前に質問事項を伺いましたが、仕上げ磨きに苦戦している保護者の方や、フッ素について悩んでいる保護者の方が多く見られました。保護者の方々が『歯に関して意識が高い』と思ひます。その結果が『むし歯の少ない子どもたち』につながっているのではないのでしょうか。治療にも積極的に行かれ、早くも『治療済』のお知らせが届いています。乳歯は、永久歯に影響します!! 「乳歯は抜けるから」と放置するのではなく、必ず歯科に行き治療・相談して下さい。



7月の行事

- 2日(月) 身体計測(0・1歳)
- 3日(火) 身体計測(2~5歳)
- 11日(水) プール開き

プールに入るにあたっての注意事項は後日詳細をお知らせいたします。



今回の地震で、防災意識が高まった方も多いのではないのでしょうか? 実際、私もどこか他人事だった部分もあり、防災グッズの見直しをする良い機会となりました。子連れでの避難。大人も不安や恐怖心が強いと思ひますが、子どもたちも同じです。災害という記憶

は心の傷として残ってしまう事もあります。なるべく不自由のない生活ができるよう日頃から準備をしておきたいものですね。

地震発生の日、松ヶ本認定こども園では『地震時の避難訓練』を行っていました。子どもたちは自分の大切な体を守るため、『だんごむしのポーズ』を教へてもらっていました。そして地震発生当日。すでに登園していた子どもたちは、先生の声をしっかりと聞き、誰一人乱すことなく、安全に避難することが出来ました。その後の余震でも、『だんごむしのポーズ』で自分の身を守ることが出来た子どもたち。避難訓練の大切さを学び、子どもたちが真剣に先生たちの話を聞いていることが分かった体験となりました。



熱中症かな?

と思ったら

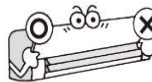
涼しい場所で休みます

からだを冷やします

スポーツドリンクを飲みます

- ★冷やすのは首・わきの下・足のつけ根
- ★水をかけてうちわであおいでもよい

- ★水分と塩分の補給が大事
- ★水分補給ができない時や、回復しない時は、病院へ



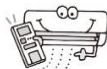
寝る時のエアコン あい? なし?

暑くて寝苦しい夜。「エアコンをつけて寝ると子どもがカゼをひかないか心配...」というおうちの方もいらっしゃると思ひます。しかし、エアコンは無理せず上手に使いたいところ。なぜなら...



【睡眠不足】がキケン 睡眠不足だと熱中症になるリスクも上昇。また汗をかいてあせもになるとかゆさで寝つけず、余計に睡眠不足に。

【夜間熱中症】がキケン 就寝中は、水分補給ができず、しかも汗をかいたため、熱中症の危険があります。



ポイントは「冷やし過ぎない」こと。設定温度は低くし過ぎず、体が風が直接当たらないように工夫しましょう。